しずおか発 はばたく実力派

花精化学工業

スプレー、髪形「カチッ」

化粧品などを受託生産する花精化学工業（静岡市、松本幸康社長）は、「業界トップクラスのセット力」をうたうヘアスプレーを開発した。商品名は「HEADプロフェッショナルヘアスプレー」で、雨の日でも強力なキープ力でヘアスタイルを保つことができる。エッセンシャルオイル（精油）を使用していることで、ほのかな香りも楽しめる。使用後には家庭用シャンプーで簡単に洗い流せるのも特徴で、年間5万本の出荷を目指す。

同社が手掛ける商品の大半は、20～30年続くロングセラーで占められている。顧客も50～60歳代の高齢層に集中している。ただ近年は販売先の美容院などから、髪形を維持する力の強いヘアスプレーを求める声が強まっていた。若い女性が好むアップスタイルに対応するためだ。

《会社概要》
▽所在地　静岡市駿河区西島768
▽事業内容　エアゾール、化粧品・医薬部外品などの製造販売・受託製造・研究開発・商品開発
▽設立　1948年
▽従業員数　約70人
▽売上高　約11億円8000万円（2010年6月期）

松本幸康社長

そこで2009年の年末から、固定力の向上をテーマに開発作業を開始。複数の化粧品用樹脂を組み合わせ、終日持つ自然な固さを実現した。

さらに昨年5月、全国の美容師が集まる展示会で実施したアンケートで、若い美容師を中心に微香性のヘアスプレーへのニーズが高まっていることが判明。「ヘアスプレーは無香料が主流。市場に受け入れられるか半信半疑だった」が、新商品作りにかじを切った。

ヘアケア製品に精油を使用、ほのかな香りも楽しめる（前方の２本が新商品）

同社では06年から、精油の成分を鼻からかぐ花粉症や安眠対策のグッズを開発している。ヘアスプレーへの精油の活用は初めてだったが、複数在籍するアロマテラピー関連の資格を持つ社員が商品開発に貢献した。

松本康政取締役は今回の新商品について「20代を意識した商品開発など、販路のチャネルを変える必要がある」と説明する。今後は精油を取り入れたヘアケア製品を「半年1品目」のペースで拡充し、自社ブランドのラインアップを整えていく方針だ。

同社は1948年に創業。52年にはヘアラッカー液のエアゾール化に成功し、ヘアスプレーの自社生産を開始した。その後、戦後の国内エアゾール市場を殺虫剤とともに支えた業務用ヘアスプレーが定着。「ヘアケア製品を扱うエアゾール産業の老舗」として、事業は一気に拡大した。

現在はシャンプーやコンディショナー、入浴剤など、大手化粧品メーカー向けOEM（相手先ブランドによる生産）のほか、設計までを請け負うODM（相手先ブランドによる設計・生産）も手掛ける。代理店を通じ、全国の美容院などにヘアスプレーやシャンプーを年間約20万本出荷する。

エアゾールの生産には特殊な設備と技術が求められ、新規参入は難しい。化粧品関連では全国でも10社程度に限られるといい、「良質な商品さえ作れば、全国に届けられるネットワークがある」。今後は、海外メーカーを相手に国際的な競争力も求められる。

同社の現在の売り上げの約9割はOEMによる受託手数料が占める。松本取締役は「新しい考えに柔軟に対応できる組織と、常に新たな顧客を生み出す発想が求められる」という。今後は自社ブランド商品やODMを拡充し、社名のように「華のある商品を市場に提供していく」つもりだ。

静岡

☎ 静岡 054-253-7191
浜松 053-452-8593